令和6年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　797

事務事業名称		決算関係事務						
担当部署(R7年度機構)		部:　会計課		課:　会計課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画 基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり				細区分	行政運営区分	
	総合計画 施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます				性質	財務・公財管理	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—			
	事業期間	事業開始：　不明		～	事業終了予定：　未定(継続実施含む)			
	根拠法令等	地方自治法						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし				補助金性質:	—	
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	行政活動の成果を数値で示す資料として、法令に基づき、会計管理者が決算を調製し、「決算書」等を市長に提出する。						
	対象者(受益者)	議会、市民/市職員						
	現状・課題	決算書等を議会、市民に公表し、市の財政状況並びに行政活動の結果を明らかにしている。						
	事業の概要	本市の決算である一会計年度における歳入歳出予算の執行の実績や収支状況を表示する計算表を作成する。						
	年間の主な事務	・各課との決算に係る調整(5月末～6月) ・決算書、決算概要説明書の印刷発注、校正、納品確認(4月末～8月) ・決算書、決算概要説明書の配付、ホームページでの公開(8、9月)						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	0.70人	—	—	—
再任用	0.00人	—	—	—
任期付職員	0.00人	—	—	—
会計年度任用職員	0.17人	—	—	—
特別職非常勤	0.00人	—	—	—
附属機関委員	0.00人	—	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	5,382	—	—	—		
		会計年度任用職員	365	—	—	—		
		特別職非常勤	0	—	—	—		
		附属機関委員	0	—	—	—		
	人件費計		5,747	—	—	—		
	物件費計		710	—	—	—	787	90.2%
歳出計			6,457	—	—	—		
歳入	国庫支出金		0	—	—	—	0	
	府支出金		0	—	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	—	—	—	0	
	市債		0	—	—	—	0	
	その他		0	—	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	—	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)			710	—	—	—	787	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 決算を調製した会計数	会計	7 会計	ー 会計	ー 会計	ー 会計

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①			R6	R7	R8	R9	単位
	説明						
	指標	目標					
		実績					
		算出方法					

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①			R6	R7	R8	R9	単位
	説明						
	指標	目標					
		実績					
		算出方法					

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	令和5年度の決算を調製し、歳入歳出決算書(実施収入に関する調書・歳入歳出決算事項別明細書・財産に関する調書を含む)及び決算概要説明書を編纂した。
R7年度	
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度取組方針	令和6年度の決算調製についても正確性を追求するとともに、効率的な調製事務の検証、検討に努める。	R7年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	ー	ー	ー

令和6年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　798

事務事業名称		出納事務						
担当部署(R7年度機構)		部:　会計課		課:　会計課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画 基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり				細区分	行政運営区分	
	総合計画 施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます				性質	財務・公財管理	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—			
	事業期間	事業開始：　不明　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	地方自治法						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし				補助金性質:	—	
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	正確かつ迅速に債権、債務を履行し、確実かつ有利な方法で現金等の保管を行う。						
	対象者(受益者)	債権者、債務者						
	現状・課題	債権、債務を確実に履行できるよう資金管理を計画的に行うとともに、歳計現金や基金の運用などを行っている。						
	事業の概要	①現金(有価証券を含む)の出納、保管及び記録管理 ②小切手に関すること ③物品管理 ④公金取扱契約(指定金融機関)に関すること ⑤一時借入金に関すること ⑥財政資金の需給計画の策定 ⑦財産の記録 ⑧基金の管理、運用及び記録管理 ⑨枚方寝屋川消防組合における出納事務						
	年間の主な事務	・現金の管理(枚方寝屋川消防組合含む)、保管(定期預金等の運用含む) ・指定金融機関、収納代理金融機関との調整及び検査 ・基金の管理、運用(債券購入や定期預金等に係る手続き) ・物品管理台帳の管理						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	3.10人	—	—	—
再任用	0.00人	—	—	—
任期付職員	0.00人	—	—	—
会計年度任用職員	0.96人	—	—	—
特別職非常勤	0.00人	—	—	—
附属機関委員	0.00人	—	—	—

決算額 (千円)	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出 内訳 正職員、再任用、任期付職員	23,833	—	—	—		
歳出 内訳 会計年度任用職員	3,872	—	—	—		
歳出 内訳 特別職非常勤	0	—	—	—		
歳出 内訳 附属機関委員	0	—	—	—		
歳出 人件費計	27,705	—	—	—		
歳出 物件費計	15,261	—	—	—	28,797	53.0%
歳出計	42,966	—	—	—		
歳入 国庫支出金	0	—	—	—	0	
歳入 府支出金	0	—	—	—	0	
歳入 受益者負担(使用料・手数料)	0	—	—	—	0	
歳入 市債	0	—	—	—	0	
歳入 その他	455	—	—	—	126	
歳入計(物件費に充当される特定財源)	455	—	—	—	126	
一般財源(物件費充当分のみ)	14,806	—	—	—	28,671	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 収入の処理件数	件	1,608,769 件	ー 件	ー 件	ー 件
② 振込件数	件	657,141 件	ー 件	ー 件	ー 件
③ 備品異動申請書の処理件数	件	6,916 件	ー 件	ー 件	ー 件

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①						
説明						
指標		R6	R7	R8	R9	単位
	目標					
	実績					
	算出方法					

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①						
説明						
指標		R6	R7	R8	R9	単位
	目標					
	実績					
	算出方法					

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	公金収納における市民や事業者の利便性の向上や、事務の効率化を図るため、地方税以外の公金収納についてもeLTAXを活用することを決定した。運用開始は令和8年9月を目指すこととし、導入対象公金を国民健康保険料、介護保険料、後期高齢者医療保険料、行政財産目的外使用許可使用料、道路占用料等、水道料金・下水道使用料とすることを決定した。
R7年度	
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度取組方針	公金収納事務におけるeLTAXの活用を推進していくため、、対象公金の各基幹システムの改修や、eLTAXの運用に必要な手続きを進める。これにより、市民・事業者の利便性だけでなく、金融機関の事務処理の効率化や出納事務の迅速化や正確性の向上に繋げていく。	R7年度方向性	現状維持

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	現状維持	ー	ー	ー

令和6年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　799

事務事業名称		審査事務						
担当部署(R7年度機構)		部:　会計課		課:　会計課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画 基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり				細区分	行政運営区分	
	総合計画 施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます				性質	財務・公財管理	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—			
	事業期間	事業開始：　不明		～	事業終了予定：　未定(継続実施含む)			
	根拠法令等	地方自治法						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし				補助金性質:	—	
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	各課が支出に関する事務を適切に遂行し、正当債権者への債務を確実に履行する。						
	対象者(受益者)	各課の支払い事務等に関与する職員						
	現状・課題	支出に関する書類の不備や不適切な支払いが発生しないよう、各課から発出される支出負担行為や支出命令の確認・審査等を行う。						
	事業の概要	①支出負担行為の確認に関すること ②収入及び支出命令書の審査に関すること ③枚方寝屋川消防組合における審査事務						
	年間の主な事務	・支出命令書等の審査(枚方寝屋川消防組合含む) ・各課担当者への会計事務に係る指導						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	3.20人	—	—	—
再任用	0.00人	—	—	—
任期付職員	0.00人	—	—	—
会計年度任用職員	0.80人	—	—	—
特別職非常勤	0.00人	—	—	—
附属機関委員	0.00人	—	—	—

決算額 (千円)	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出 内訳 正職員、再任用、任期付職員	24,602	—	—	—		
歳出 内訳 会計年度任用職員	3,227	—	—	—		
歳出 内訳 特別職非常勤	0	—	—	—		
歳出 内訳 附属機関委員	0	—	—	—		
歳出 人件費計	27,829	—	—	—		
歳出 物件費計	0	—	—	—	0	0.0%
歳出計	27,829	—	—	—		
歳入 国庫支出金	0	—	—	—	0	
歳入 府支出金	0	—	—	—	0	
歳入 受益者負担(使用料・手数料)	0	—	—	—	0	
歳入 市債	0	—	—	—	0	
歳入 その他	0	—	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	—	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)	0	—	—	—	0	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 支出命令の件数	件	88,397 件	ー 件	ー 件	ー 件

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①						
説明						
指標		R6	R7	R8	R9	単位
	目標					
	実績					
	算出方法					

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①						
説明						
指標		R6	R7	R8	R9	単位
	目標					
	実績					
	算出方法					

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	文書管理システムと財務会計システムの連携を図り、審査事務等の一部について電子決裁を導入した。併せて、電子化に対応するため、請求書の押印や、審査時に添付する書類の見直しを行い、適正な公金管理を維持しつつ、事務の効率化にも努めた。
R7年度	
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度取組方針	令和6年度に電子化に対応するために実施した見直し内容を踏まえ、適正な支出命令書等の審査を実施し、正当債権者への債券を確実に履行していく。 併せて、審査の正確性を高めるだけでなく、効率的な審査を目指して検討を行う。	R7年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	ー	ー	ー

令和6年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　908

事務事業名称			会計課運営事務					
担当部署(R7年度機構)			部:　会計課	課:　会計課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画	基本目標	9.施策体系外			細区分	行政運営区分	
		施策目標	99.施策体系外			性質	内部事務・行政運営	
	市長公約との関係性		所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
						—			
	事業期間		事業開始：　不明		～	事業終了予定：　未定(継続実施含む)			
	根拠法令等		決裁						
	関係附属機関等		該当なし						
	関係補助金等		該当なし			補助金性質:	—		
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態		課内の庶務事務が適正に実施され、会計管理者及び会計課の事務が円滑な運営。						
	対象者(受益者)		会計課職員						
	現状・課題		会計課事務の円滑な運営。						
	事業の概要		課の運営業務						
	年間の主な事務		・庁内外からの通知や照会への回答等 ・職員の休暇、時間外勤務等の管理						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	1.00人	—	—	—
再任用	0.00人	—	—	—
任期付職員	0.00人	—	—	—
会計年度任用職員	0.64人	—	—	—
特別職非常勤	0.00人	—	—	—
附属機関委員	0.00人	—	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	7,688	—	—	—		
		会計年度任用職員	2,582	—	—	—		
		特別職非常勤	0	—	—	—		
		附属機関委員	0	—	—	—		
	人件費計		10,270	—	—	—		
	物件費計		12,090	—	—	—	12,157	99.4%
歳出計			22,360	—	—	—		
歳入	国庫支出金		0	—	—	—	0	
	府支出金		0	—	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	—	—	—	0	
	市債		0	—	—	—	0	
	その他		7,425	—	—	—	7,426	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			7,425	—	—	—	7,426	
一般財源(物件費充当分のみ)			4,665	—	—	—	4,731	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
①			―	―	―

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①							
説明							
指標		R6	R7	R8	R9	単位
	目標					
	実績					
	算出方法					

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①							
説明							
指標		R6	R7	R8	R9	単位
	目標					
	実績					
	算出方法					

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	課内の庶務事務を適切に実施し、会計課の事務を円滑に運営した。
R7年度	
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度取組方針	健康経営の取組みの推進の趣旨に則り、職員の健康保持に努めるとともに、当課の庶務事務を適正に執行していく。	R7年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	―	―	―